

表-2 不適応的な対処反応の例⁵³⁾

早期不適応的スキーマ		「スキーマへの服従」の例	「スキーマの回避」の例	「スキーマへの過剰補償」の例
1	見捨てられ / 不安定	対人関係を形成したり維持したりする能力のない人を選ぶ	親密な対人関係を避ける。一人の時に過度に飲酒する。	パートナーにしがみつく・まとわりつく。少し離れただけで激しく非難する。
2	不信 / 虐待	虐待するような人をパートナーにする・虐待を許容する	弱い立場に陥ることを避ける。他者を信用せず、自己開示しない	他者を利用し、虐待する（「やられる前にやってやれ」）
3	情緒的剥奪	感情的に冷淡な人をパートナーに選ぶ。自分の欲求を伝えたり求めたりしない。	誰とも親密な対人関係を持たない。	パートナーや親しい友人に対し、自分の欲求を大げさに示す。
4	欠陥 / 恥	自分に批判的・拒絶的な人を友人に選ぶ。自分を卑下する。	本音や感情を出さない。他人同士を引き合わせ、分は身を引く。	完璧そうに見える人をあえて批判したり拒絶したりする。
5	社会的孤立 / 疎外	社会的な集まりで、自分と他者との類似点ではなく相違点ばかりに注目する。	対人関係や社会的な集まりを避ける	その時々での社会的な集まりに自分を合わせ、カメレオンのように変身する。
6	依存 / 無能	重要他者（例：親や配偶者）に経済的な判断をすべて委ねる。	車の運転を習うなど、新たなことに挑戦することを避ける。	自分だけを頼みにして、他者を頼らない（“反依存”状態）
7	損害や疾病に対する脆弱性	日常的に悲惨な事故が起こることを心配し続ける。	100%安全が保証されていない場所には出向かない。	危険を顧みず、無鉄砲な行動をとる（“逆恐怖”状態）
8	巻き込まれ / 未発達な自己	大人になっても母親に何でも話す。自分ではなく、パートナーのためだけに生きる。	他者と親密な関係になることを避ける。誰にも頼らず、全く一人で過ごす。	全てにおいて重要他者の言うことと正反対のことをしようとする。
9	失敗	何をするにも及び腰であったり、無計画であったりする。	チャレンジを全くしない。物事への取り掛かりを先延ばしする。	常に自分を駆り立て実力以上に業績をあげようとする。
10	権利要求 / 尊大	ほしいものを手に入れるために他者を脅したりいじめたりする。自分の業績を自慢する。	自分が優位に立てない状況や自分が単なる普通の人になってしまう状況を避ける。	他者の要求に応じてばかりいる。
11	自制と自律の欠如	毎日の日課を簡単に放棄する。	仕事につかない。責任を引き受けようとしていない。	厳しく自己制御する。過剰に自分を律する。

12	服従	他者に状況を制御してもらったり、物事を決めてもらう。	他者と争いになりそうな場面を避ける。	権威者にことごとく反抗する。
13	自己犠牲	見返りも求めずに、他者に与えるばかり。	ギブ&テイクの関係を避ける。	他者にはできるだけ何も与えない。
14	評価と承認の希求	もっぱら自分を相手に印象づけるために振る舞う。	この人にこそよく思われたい、という人との交流を避ける。	他者から批判されそうなことばかりする。できるだけ目立たないようにする。
15	否定 / 悲観	否定的な面ばかり注目する。いつも心配している。良くない結果を避けるため何でもする	悲観的な感情や不幸な気分を追い払うために飲酒する。	過度に楽天的であろうとする。現実には喜ばしくない側面を無視する。
16	感情抑制	常に穏やかであろうとする。感情がないかのように振る舞う。	皆が議論したり感情を表出したりする状況を避ける。	常ににぎやかな、はしゃいだ振る舞いをする
17	厳密な基準 / 過度の批判	多大な時間を費やして完璧であろうとする。	成果が評価されるような場面や課題をことごとく避けたり、先送りする。	規範を無視する。不注意に、大急ぎで課題に取り組む。
18	罰	自分にも他人にも非常に厳しく、懲罰的に振る舞う。	罰せられるのが怖いので、他者と関わることを避ける。	やたらと寛大に振る舞う。

表－3 YSQ-S3：EMSs 早期不適応的スキーマに対応する質問例⁰⁰⁾

領域Ⅰ 断絶と拒絶		
1	見捨てられ / 不安定	親しい人達が離れていってしまったり、私を見捨てないか不安だ。人が自分から離れていってしまうことが心配で、あえて彼らを遠ざけてしまうことがある。
2	不信 / 虐待	私は人に利用されていると感じてしまう。私は他人の真意に対してとても疑い深い。誰かが私を裏切るのは時間の問題である。
3	情緒的剥奪	私を慈しんでくれたり、その人生を共有してくれたり、また私に起こるすべての事を深く気にかけてくれる人はいなかった。私が誰かにとって特別な存在だと感じたことはない。
4	欠陥 / 恥	私は人に愛されたり、注目されたり、尊重されるに値しない。私が好きになる人はみんな、一度私の欠点を知ると私を愛せなくなるだろう。
5	社会的孤立 / 疎外	私はどこにも属さない一匹狼である。私は基本的に人とは違う。私は周囲から浮いてしまう。私は他人か疎外されていると思う。
領域Ⅱ 自律性と行動の損傷		
6	依存 / 無能	私は一人で日常生活を支障なく送る自信がない。私には常識が足りない。日常生活においては自分の判断はあてにはできない。
7	損害や疾病に対する脆弱性	今にも良くない事（自然災害、犯罪、金銭的問題、健康上の問題など）が起こるような気がする。医者から重い病気の診断がないにも関わらず、健康が損なわれているのではないかと心配だ。
8	巻き込まれ / 未発達の自己	私と両親はお互いの人生や問題に対して関わりすぎる傾向がある。親子間で隠し事をする、裏切りや罪の意識を感じずにはいられない。自分を通して両親が生き自分自身の人生がないように感じる。
9	失敗	私には物事を達成する能力が足りない。勉強や仕事では、殆どの人達より知的に劣っている。
領域Ⅲ 制約の欠如		
10	権利要求 / 尊大	人に何か頼む時、断られるなんてことはとても受け入れられない。私は特別なので、人が従っているような制限には従う必要はないはずだと感じる。私のする事は他人がする事より価値があると思う。規則に縛られ、自分のしたいことができない事は我慢がならない。
11	自制と自律の欠如	自分の決心を貫き通せることはまれだ。目標を達成できないと、すぐイライラして諦めてしまう。今楽しいことを犠牲にして、将来のためになることをするのがとても苦手だ。
領域Ⅳ 他者への追従		
12	服従	私が自分の望む事をすれば問題が起きるだけだ。人は何らかの形で私に仕返しをしたり、怒ったり、私を拒絶するので、相手の要望に対して折れるしかないと感じる。
13	自己犠牲	私はいつも人の悩みの聞き役をしてきた。大切な人達のために時間を割き過ぎ、自分の時間はあまりない。私は自分の事以上に人の事を気かけられるので、良い人間である。
14	評価と承認の希求	沢山褒められると自分は価値のある人間だと感じる。お金持ち有名な人を知っていると、自分も価値があるように感じる。人に気づいてもらえてこそ私の成し遂げてきたことに最も価値を感じられる。

領域 V 過剰警戒と抑制		
15	否定 / 悲観	何か良いことが起きると、すぐ後に悪いことが起きるのではないかと心配になる。誤った判断が大変な不幸を招くのではないかと心配している。
16	感情抑制	自分の感情を人の前で出すことは恥ずかしい事だと感じる。人前では、自由な気分で自然に振る舞うのは難しいと感じる。私は自制心が強すぎるので、周りの人は私を感情のない人間だと思っている。
17	厳密な基準 / 過度の批判	私は責任をすべて果たさなければならない。何事にもできる限りの事を徹底的にするように心がけている、妥協はしたくない。物事を成し遂げ成果を上げねばならないというプレッシャーを感じる
18	罰	しっかりとやることをやっておかないと、後でそのしわ寄せが自分に戻ってくる。私は罰せられるに値する悪い人間だ。失敗の原因は重要ではない、もし私が失敗したら、それを償うだけだ。

表-4 YCIにおけるスキーマへの過剰補償の3タイプに対する質問例¹³⁾

1)社会的 コントロール Social Control	自分の目的達成のために物事や人を利用する。物事がうまく行かない時他人を責めてしまう。有名になることは自分にとって重要なことだ。私はとても批判的な人間である。何より自分が優先である。私の成し遂げてきたことが人に評価されることは私にとって重要なことだ。
2) 個人主義 Individuality	自分自身で決断し精神的経済的に独立することは私にとって重要だ。社会的に認められるための努力をしようとは思わない。いつも人とは違うことをする。やりたいことを何でもできる自由を手に入れたい。
3) 自己 コントロール Personal Control,	常に理想の自分でいたいと思っているがその思いが重荷になっている。失敗しないように決断する際にはとても悩んでしまう。秩序正しいことが私にとって重要だ。予測を立て物事が悪い方向へ行かないようにする努力はおしまない。

表-5 YRAIにおけるスキーマの回避の2タイプに対する質問例¹³⁾

1) 行動化 / 身体化による回避	怒った時は無口になる。長時間空想する。傷ついたときは引きこもりがちになる。物事がうまくいかないと体調が悪くなる。筋肉痛に悩んでいる。
2) 認知的 / 感情的回避	物事につまずいた時はできるだけ早く忘れて前に進む生き方が良いと思っている。腹立たしいことは考えないようにしている。感情を理性でコントロールすべきだと考える。常に穏やかでいるようにしている。

表－6 休務経験者及び健常者 分類表

全体		健常群	
総数	113 人	総数	50 人
男性	75 人	男性	32 人
女性	38 人	女性	18 人
		平均年齢	39.66 才
		年齢幅	25－59 才
		休務経験群	
		総数	63 人
		男性	43 人
		女性	20 人
		平均年齢	42.76 才
		年齢幅	25－65 才
		休務群	
		総数	39 人
		男性	26 人
		女性	13 人
		復務群	
		総数	24 人
		男性	17 人
		女性	7 人

表－7 調査対象者の病型分類

大うつ病既往群 39(14)	うつ群	19(5)	M型群	14(5)
			他型群	5(0)
	回復群	20(9)	M型群	14(5)
			他型群	6(4)
躁群 18(10)	躁を伴う者	8(1)		
	軽躁を伴う者	10(3)		
その他 6(2)	気分変調性障害	2(0)		
	特定不能のうつ病性障害	1(0)		
	広汎性発達障害	1(0)		
	不安障害	2(2)		

() 内は女性数

*M型群 平均年齢；41.64 才
 他型群 平均年齢：42.73 才
 躁群 平均年齢：46.06 才

表－8 休務回と休務期間 (群別)

休務期間	1 回目休務期間 休務 1 回目継続中の 14 人を除く					2 回目休務期間 2 回目継続中の 15 人を除く				
	計	M型 群	他型 群	躁 群	その 他	計	M型群	他型群	躁 群	その他
3ヶ月以内	10	5	3	2		5	4		1	
6ヶ月以内	14	5	3	6		2		1	1	
1年以内	8	5	1	2		7	2	1	4	
1年半以内		3	1	2	1	5	2	1	2	
2年以内	3	2	1			0				
2年半以内	4	3		1		1			1	
3年以内	1	1				0				
3年以上	2		1	1		1	1			
計	49	24	10	14	1	21	9	3	9	0

休務期間	3 回目休務期間 3 回目継続中の 8 人を除く					4 回目休務期間 4 回目継続中の 1 人を除く				
	計	M型 群	他型 群	躁 群	その 他	計	M型群	他型群	躁 群	その他
3ヶ月以内	1			1		2			2	
6ヶ月以内	3	1		2						
1年以内	0					1	1			
1年半以内	1			1						
2年以内	1			1		1			1	
2年半以内	0									
3年以内	0									
3年以上	0									
計	6	1	0	5	0	4	1	0	3	0

*休務 5 回以上経験者 2 名 (M 型群 1, 躁群 1)

表-9 a-I 合計点比較：休務経験群、健常群

合計点	イ. 休務経験群 n=63		二. 健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD		
BDI-II	13.41	9.29	7.10	5.48	イ>二	イ>二
STAI状態不安	46.03	12.65	37.14	10.06	イ>二	
STAI特性不安	51.86	13.58	40.60	11.23	イ>二	
YSQ-S3	234.37	64.42	185.42	37.25	イ>二	イ>二
YCI	126.17	20.92	116.92	19.58	イ>二	
YRAI	116.10	19.27	104.38	11.41	イ>二	イ>二

表-9 a-II 合計点比較：休務群、復務群、健常群

合計点	ロ. 休務群 n=39		ハ. 復務群 n=24		ニ. 健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
BDI-II	15.49	9.17	10.04	8.63	7.10	5.48	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ,ニ
STAI状態不安	49.08	12.21	41.88	12.20	37.14	10.06	ロ>ハ,ニ	
STAI特性不安	54.82	12.55	48.08	14.14	40.60	11.23	ロ>ハ,ニ	
YSQ-S3	255.28	65.29	204.04	50.70	185.42	37.25	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ,ニ
YCI	132.82	21.25	116.21	16.19	116.92	19.58	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ
YRAI	125.90	18.04	101.88	10.26	104.38	11.41	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ,ニ

表-9 a-III 合計点比較：うつ群、回復群、健常群

合計点	①うつ群 n=19		②回復群 n=20		③健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
BDI-II	20.37	6.92	6.75	3.93	7.10	5.48	①>②③	①>②③
STAI状態不安	54.00	8.69	39.45	8.80	37.14	10.06	①>②③	
STAI特性不安	61.00	7.85	44.20	10.36	40.60	11.23	①>②③	①>③
YSQ-S3	270.53	57.45	198.20	43.24	185.42	37.25	①>②③	
YCI	129.74	18.49	115.35	14.14	116.92	19.58	①>②③	
YRAI	123.95	17.35	107.05	17.60	104.38	11.41	①>②③	①>②③

表-9 a-IV 合計点比較：M型群、他型群、躁群

合計点	④M型群 n=28		⑤他型群 n=11		⑥躁群 n=18		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
BDI-II	13.39	9.43	13.36	7.50	13.67	11.54		
STAI状態不安	47.39	11.87	44.36	10.07	47.06	14.77		
STAI特性不安	53.36	12.72	49.91	11.99	52.50	15.97		
YSQ-S3	237.86	64.73	222.18	55.52	249.00	75.60		
YCI	122.61	18.71	121.73	15.84	135.00	21.70	(すべて差なし)	
YRAI	115.21	20.33	115.45	17.08	120.78	20.25		

表-10 b-I EMSs 早期不適応のスキーマ比較：休務経験群、健常群

	イ. 休務経験群 n=63		ニ. 健常群 n=50		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YSQ-S3 合計	234.37	64.42	185.42	37.25	イ>ニ	イ>ニ
領域 I 断絶と拒絶						
1 見捨てられ/不安定	2.52	0.92	1.92	0.64	イ>ニ	イ>ニ
2 不信/虐待	2.44	0.81	1.80	0.58	イ>ニ	イ>ニ
3 情緒的剥奪	2.28	1.18	1.73	0.82	イ>ニ	
4 欠陥/恥	2.42	1.07	1.84	0.68	イ>ニ	
5 社会的孤立/疎外	2.80	1.12	2.06	0.71	イ>ニ	イ>ニ
領域 I	2.49	0.86	1.87	0.57	イ>ニ	イ>ニ
領域 II 自律性と行動の損傷						
6 依存/無能	2.67	0.93	2.01	0.65	イ>ニ	イ>ニ
7 損害や疾病に対する脆弱性	2.35	1.05	1.53	0.47	イ>ニ	イ>ニ
8 巻き込まれ/未発達の自己	2.34	0.82	1.82	0.57	イ>ニ	
9 失敗	2.84	1.31	2.30	0.95	イ>ニ	
領域 II	2.51	0.92	1.88	0.52	イ>ニ	イ>ニ
領域 III 制約の欠如						
10 権利要求/尊大	1.94	0.48	1.81	0.43		
11 自制と自律の欠如	2.57	0.94	2.16	0.62	イ>ニ	
領域 III	2.25	0.62	1.99	0.42	イ>ニ	
領域 IV 他者への追従						
12 服従	2.65	1.05	1.93	0.55	イ>ニ	イ>ニ
13 自己犠牲	2.45	0.69	2.30	0.57		
14 評価を承認の希求	2.65	0.81	2.30	0.46	イ>ニ	
領域 IV	2.58	0.64	2.18	0.34	イ>ニ	イ>ニ
領域 V 過剰警戒と抑制						
15 否定/悲観	3.03	1.08	2.29	0.73	イ>ニ	
16 感情抑制	2.75	0.97	2.08	0.76	イ>ニ	
17 厳密な基準/過度の批判	3.06	0.90	2.49	0.65	イ>ニ	
18 罰	3.03	0.90	2.62	0.63	イ>ニ	
領域 V	2.97	0.79	2.37	0.53	イ>ニ	イ>ニ

表-10 b-II EMSs 早期不適應的スキーマ比較：休務群、復務群、健常群

	□. 休務群 n=39		ハ. 復務群 n=24		ニ. 健常群 n=50		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YSQ-S3合計	255.28	65.29	204.04	50.70	185.42	37.25	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ
領域 I 断絶と拒絶								
1 見捨てられ/不安定	2.76	1.06	2.22	0.56	1.92	0.64	□>ハ,ニ	
2 不信/虐待	2.72	0.81	1.99	0.57	1.80	0.58	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ
3 情緒的剥奪	2.56	1.35	1.96	0.84	1.73	0.82	□>ニ	
4 欠陥/恥	2.59	1.23	2.22	0.75	1.84	0.68	□>ニ	
5 社会的孤立/疎外	3.19	1.19	2.27	0.72	2.06	0.71	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ
領域 I	2.77	0.95	2.13	0.56	1.87	0.57	□>ハ,ニ	□>ニ
領域 II 自律性と行動の損傷								
6 依存/無能	2.95	0.96	2.27	0.69	2.01	0.65	□>ハ,ニ	□>ニ
7 損害や疾病に対する脆弱性	2.57	1.12	1.99	0.83	1.53	0.47	□>ハ,ニ	□>ニ
8 巻き込まれ/未発達の自己	2.54	0.87	2.07	0.67	1.82	0.57	□>ハ,ニ	
9 失敗	3.14	1.40	2.45	1.08	2.30	0.95	□>ニ	
領域 II	2.75	0.97	2.17	0.72	1.88	0.52	□>ハ,ニ	
領域 III 制約の欠如								
10 権利要求/尊大	1.99	0.47	1.86	0.51	1.81	0.43		
11 自制と自律の欠如	2.77	1.08	2.29	0.57	2.16	0.62	□>ニ	
領域 III	2.38	0.68	2.08	0.47	1.99	0.42	□>ニ	
領域 IV 他者への追従								
12 服従	2.91	1.09	2.29	0.87	1.93	0.55	□>ハ,ニ	□>ニ
13 自己犠牲	2.61	0.75	2.13	0.47	2.30	0.57	□>ニ	□>ニ
14 評価を承認の希求	2.81	0.78	2.38	0.81	2.30	0.46	□>ハ,ニ	
領域 IV	2.77	0.62	2.27	0.55	2.18	0.34	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ
領域 V 過剰警戒と抑制								
15 否定/悲観	3.27	1.07	2.70	1.00	2.29	0.73	□>ハ,ニ	
16 感情抑制	2.99	1.10	2.42	0.66	2.08	0.76	□>ハ,ニ	
17 厳密な基準/過度の批判	3.32	0.89	2.62	0.76	2.49	0.65	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ
18 罰	3.26	0.86	2.63	0.83	2.62	0.63	□>ハ,ニ	
領域 V	3.21	0.77	2.59	0.70	2.37	0.53	□>ハ,ニ	□>ハ,ニ

表-10 b-III EMSs 早期不適応的スキーマ比較：うつ群、回復群、健常群

	①うつ群 n=19		②回復群 n=20		③健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
YSQ-S3合計	270.53	57.45	198.20	43.24	185.42	37.25	①>②,③	
領域 I 断絶と拒絶								
1 見捨てられ/不安定	2.78	1.15	2.16	0.54	1.92	0.64	①>②,③	
2 不信/虐待	2.81	0.58	2.11	0.54	1.80	0.58	①>②,③	①>③
3 情緒的剥奪	2.88	1.22	1.77	0.79	1.73	0.82	①>②,③	
4 欠陥/恥	2.85	1.13	1.90	0.53	1.84	0.68	①>②,③	
5 社会的孤立/疎外	3.53	1.29	2.19	0.54	2.06	0.71	①>②,③	
領域 I	2.97	0.90	2.03	0.44	1.87	0.57	①>②,③	
領域 II 自律性と行動の損傷								
6 依存/無能	3.12	0.98	2.25	0.51	2.01	0.65	①>②,③	
7 損害や疾病に対する脆弱性	2.76	1.15	1.95	0.75	1.53	0.47	①>②,③	②>③
8 巻き込まれ/未発達の自己	2.56	0.78	2.05	0.52	1.82	0.57	①>②,③	
9 失敗	3.85	1.32	2.03	0.68	2.30	0.95	①>②,③	
領域 II	3.06	0.87	2.01	0.52	1.88	0.52	①>②,③	
領域 III 制約の欠如								
10 権利要求/尊大	1.99	0.46	1.83	0.41	1.81	0.43		
11 自制と自律の欠如	2.98	0.81	2.35	0.63	2.16	0.62	①>②,③	
領域 III	2.48	0.49	2.09	0.47	1.99	0.42	①>②,③	
領域 IV 他者への追従								
12 服従	3.19	0.96	2.22	0.60	1.93	0.55	①>②,③	①>③
13 自己犠牲	2.33	0.65	2.37	0.50	2.30	0.57		
14 評価を承認の希求	2.91	0.93	2.22	0.61	2.30	0.46	①>②,③	
領域 IV	2.81	0.64	2.27	0.45	2.18	0.34	①>②,③	
領域 V 過剰警戒と抑制								
15 否定/悲観	3.71	0.88	2.41	0.70	2.29	0.73	①>②,③	
16 感情抑制	3.24	1.02	2.49	0.81	2.08	0.76	①>②,③	
17 厳密な基準/過度の批判	3.15	0.82	2.64	0.80	2.49	0.65	①>③	
18 罰	3.49	0.79	2.57	0.78	2.62	0.63	①>②,③	
領域 V	3.40	0.67	2.53	0.70	2.37	0.53	①>②,③	

表-10 b-IV EMSs 早期不適應的スキーマ比較：M型群、他型群、躁群

	④M型群 n=28		⑤他型群 n=11		⑥躁群 n=18		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YSQ-S3合計	237.86	64.73	222.18	55.52	249.00	75.60		
領域 I 断絶と拒絶								
1 見捨てられ/不安定	2.50	1.03	2.36	0.65	2.76	1.03		
2 不信/虐待	2.42	0.67	2.53	0.65	2.62	1.06		
3 情緒的剥奪	2.36	1.24	2.20	0.97	2.59	1.36		
4 欠陥/恥	2.47	1.10	2.09	0.60	2.69	1.12		
5 社会的孤立/疎外	2.93	1.25	2.62	1.01	2.98	1.00		
領域 I	2.54	0.91	2.36	0.67	2.73	0.97		
領域 II 自律性と行動の損傷								
6 依存/無能	2.74	0.93	2.49	0.73	2.74	1.07		
7 損害や疾病に対する脆弱性	2.40	1.09	2.20	0.92	2.51	1.21		
8 巻き込まれ/未発達の自己	2.30	0.70	2.29	0.75	2.49	1.10		
9 失敗	3.17	1.43	2.27	1.02	2.92	1.29		④>⑤
領域 II	2.62	0.93	2.25	0.72	2.64	1.10		
領域 III 制約の欠如								
10 権利要求/尊大	1.94	0.45	1.82	0.41	2.09	0.59		
11 自制と自律の欠如	2.69	0.84	2.56	0.60	2.68	1.24		
領域 III	2.32	0.55	2.19	0.43	2.38	0.81		
領域 IV 他者への追従								
12 服従	2.74	1.01	2.58	0.72	2.87	1.34		
13 自己犠牲	2.19	0.48	2.75	0.62	2.63	0.95		
14 評価を承認の希求	2.54	0.82	2.58	0.95	2.77	0.69		
領域 IV	2.49	0.60	2.64	0.64	2.76	0.74		
領域 V 過剰警戒と抑制								
15 否定/悲観	3.22	1.04	2.58	0.84	3.24	1.27		
16 感情抑制	2.85	1.01	2.87	0.96	2.90	1.05		
17 厳密な基準/過度の批判	2.99	0.86	2.64	0.77	3.32	1.01		
18 罰	3.10	0.94	2.82	0.82	2.94	0.97		
領域 V	3.04	0.83	2.73	0.76	3.10	0.87		

表-11 c-I YCI スキーマへの過剰補償比較：休務経験群、健常群

	イ. 休務経験群 n=63		ニ. 健常群 n=50		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YCI合計	126.17	20.92	116.92	19.58	イ>ニ	
社会的コントロール	2.39	0.56	2.24	0.51		
個人主義	2.60	0.53	2.37	0.40	イ>ニ	
自己コントロール	3.37	0.93	2.89	0.72	イ>ニ	

表-11 c-II YCI スキーマへの過剰補償比較：休務群、復務群、健常群

	ロ. 休務群 n=39		ハ. 復務群 n=24		ニ. 健常群 n=50		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YCI合計	132.82	21.25	116.21	16.19	116.92	19.58	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ
社会的コントロール	2.45	0.56	2.26	0.55	2.24	0.51		
個人主義	2.75	0.56	2.40	0.42	2.37	0.40	ロ>ハ,ニ	
自己コントロール	3.63	0.97	3.01	0.78	2.89	0.72	ロ>ハ,ニ	

表-11 c-III YCI スキーマへの過剰補償比較：うつ群、回復群、健常群

	①うつ群 n=19		②回復群 n=20		③健常群 n=50		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YCI合計	129.74	18.49	115.35	14.14	116.92	19.58	①>②,③	
社会的コントロール	2.34	0.64	2.20	0.35	2.24	0.51		
個人主義	2.85	0.50	2.39	0.43	2.37	0.40	①>②,③	
自己コントロール	3.79	0.99	2.88	0.74	2.89	0.72	①>②,③	①>②,③

表-11 c-IV YCI スキーマへの過剰補償比較：M型群、他型群、躁群

	④M型群 n=28		⑤他型群 n=11		⑥躁群 n=18		BDI-IIIによる	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	補正前比較	補正後比較
YCI合計	122.61	18.71	121.73	15.84	135.00	21.70		
社会的コントロール	2.22	0.55	2.37	0.38	2.63	0.55	⑥>④	⑥>④
個人主義	2.66	0.53	2.49	0.48	2.64	0.56		
自己コントロール	3.44	1.03	3.02	0.80	3.56	0.94		

表-12 d-I YRAI スキーマの回避比較：休務経験群、健常群

	イ. 休務経験群 n=63		ニ. 健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD		
YRAI合計	116.10	19.27	104.38	11.41	イ>ニ	イ>ニ
行動化/身体化による回避	3.32	0.73	2.54	0.58	イ>ニ	イ>ニ
認知的/感情的回避	3.27	0.69	3.13	0.68		

表-12 d-II YRAI スキーマの回避比較：休務群、復務群、健常群

	ロ. 休務群 n=39		ハ. 復務群 n=24		ニ. 健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
YRAI合計	125.90	18.04	101.88	10.26	104.38	11.41	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ,ニ
行動化/身体化による回避	3.57	0.70	2.95	0.59	2.54	0.58	ロ>ハ>ニ	ロ>ハ,ニ
認知的/感情的回避	3.51	0.66	2.95	0.67	3.13	0.68	ロ>ハ,ニ	ロ>ハ,ニ

表-12 d-III YRAI スキーマの回避比較：うつ群、回復群、健常群

	①うつ群 n=19		②回復群 n=20		③健常群 n=50		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
YRAI合計	123.95	17.35	107.05	17.60	104.38	11.41	①>②,③	①>②,③
行動化/身体化による回避	3.83	0.68	2.91	0.44	2.54	0.58	①>②>③	①>②,③
認知的/感情的回避	3.38	0.69	2.96	0.49	3.13	0.68		

表-12 d-IV YRAI スキーマの回避比較：M型群、他型群、躁群

	④M型群 n=28		⑤他型群 n=11		⑥躁群 n=18		補正前比較	BDI-IIIによる 補正後比較
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD		
YRAI合計	115.21	20.33	115.45	17.08	120.78	20.25		
行動化/身体化による回避	3.42	0.78	3.19	0.58	3.37	0.74		
認知的/感情的回避	3.23	0.66	3.00	0.52	3.52	0.78	(すべて差なし)	

